

横岡地域における地域活性化事例 ～地域外の人材がもたらす効果～

にかほ市横岡地区

にかほ市農林水産部農村整備課

にかほ市横岡地区

にかほ市の南東部、鳥海山の麓に位置

- ・人口 311人
- ・世帯数 97世帯（R4.4.1現在）

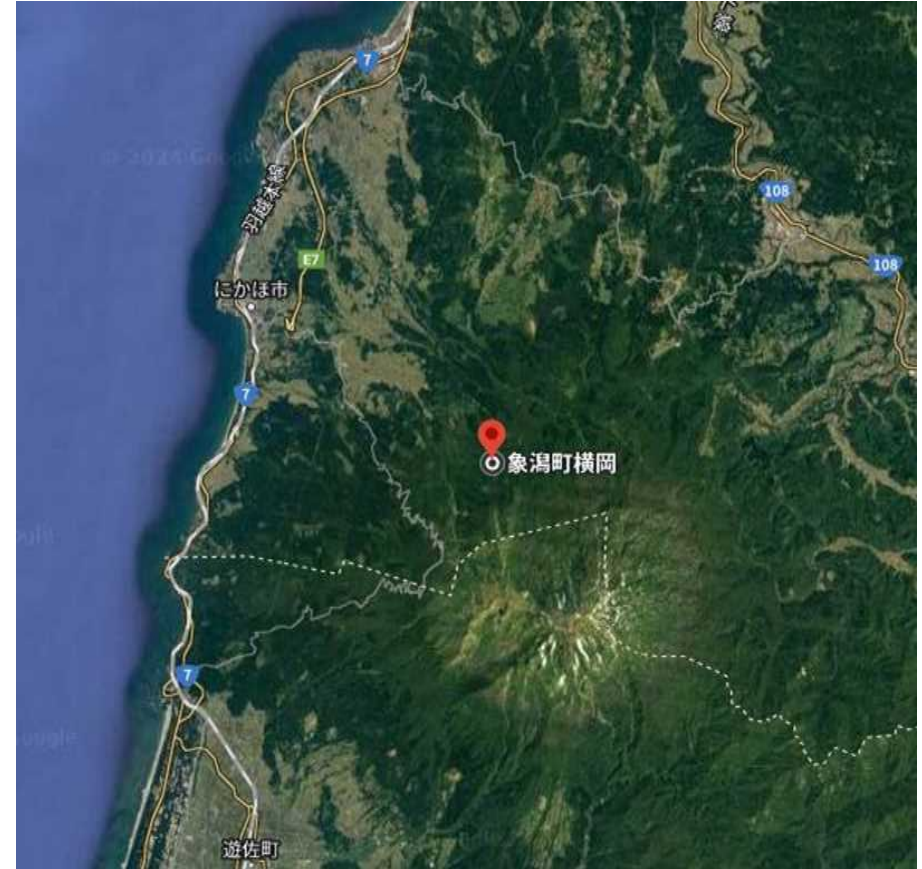
棚田が広がる田園風景のなか、鳥海山麓からの融雪水による豊富な農業用水を活用して営農を続けている中山間地である。古来から伝わる「上郷の小正月行事」や「鳥海山日立舞」等、長い歴史の中で育まれた伝統芸能や文化が伝承されている。



横岡地区の棚田風景

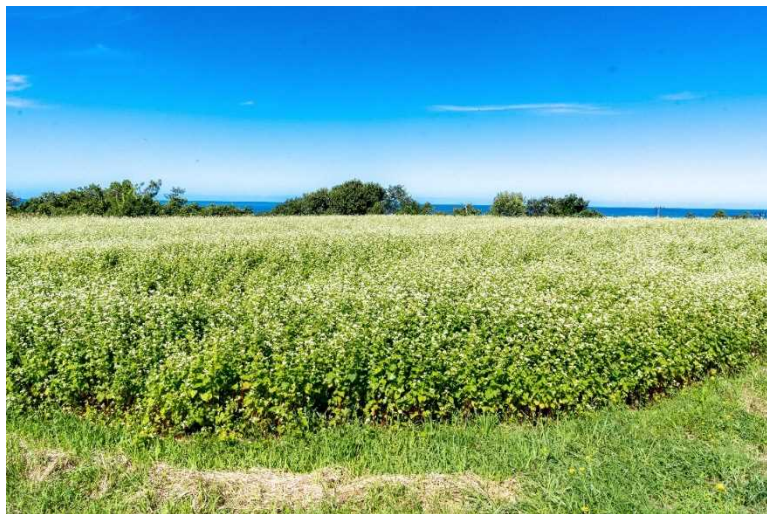


鳥海山日立舞



横岡地区の特産「そば」

- ・ 稲作が主産業であるが、転作作物としてそばの生産が盛ん。
- ・ そばの生産振興を図るため、「横岡稲倉そば生産組合」が主体となり、地道に耕作放棄地等、ほ場の集積を行い、作付面積を広げてきた。現在では地域内に留まらず、市内の広い地域で農地を借り受け、令和4年には約86haと大規模な作付けを行っている。
- ・ そば栽培には不適といわれる水はけの悪い農地の中でも、好条件の土地に劣らない収量を確保するなど、優れた生産技術が評価されている。
- ・ 毎年12月に開催される年越しそば打ち体験や、市内各種イベントでのそば打ち教室など、そば文化の振興・認知度向上に積極的に取り組んでいる。



住民主体で企画・活動する「懐の深い」地域

【運動会】

- ・地域で40年以上に渡って続く人気行事
- ・他地域に移住した住民も帰省し子ども連れで参加



【夏休み自然体験教室】

市の交流事業の一環として、H22年度より市・自治会・そば生産組合が協力し、東京都港区の小学生を地域で受け入れ、農産物の収穫やそば打ち体験を通し、交流を深めている



【横岡ふるさと会】

(令和元年・2年に開催)

- ・お盆の帰省時期にあわせ、首都圏の地域出身者等との交流や意見交換、地域の保全継承や展望の話し合い
- ・コロナ禍の令和2年にはSNSを利用したデジタル里帰り企画を実施し、県外在住者からの近況報告や写真を取りまとめ、小冊子を作成

写真で『ただいまー』大募集!

アメにも負けず、カゼにも負けず、コロナにも!!



昨年、第1回のふるさと会を開催。手探り状態での運営でしたが、多くの横岡っ子が、全国から、県内・市内から駆けつけてくださいました。共感と感謝の声がたくさん届きました。横岡の最強のサポーターの方々です。主催者側としても感謝、感謝でした。

今年は、コロナ禍の中、皆さん不自由な思いをされていることと思います。こういう時だからこそ、自由な移動はできなくても、電話やビデオでの心の交流で、家族・故郷とつながっているのではないのでしょうか。

第2回の横岡ふるさと会は、**新しいカタチの集合**を検討。たどり着いたのが、【写真で『ただいまー』企画です。横岡出身の皆さんから写真を募集し、自治会館に貼りだすとともに、できれば、記念の小冊子(手作り)を作成したいと考えています。皆さん、親戚、同級生の方々に、声を掛け合ってください。ご応募をお待ちしています。

横岡自治会協議会/里地里山を守り継ぐプロジェクト運営事務局

応募要領

1. 応募資格 : 横岡にルーツを持つ方であれば、どなたでも OK
2. 応募方法 :
 - ① お一人でも、家族でも、仲間でも OK
 - ② 横岡の実家にある写真提供でも OK (実家の皆さんと一緒にのものも)
 - ③ 可能であれば、メールや SNS で。直接送信可能な方は以下のアドレスまで。

【自治会だより】

- ・平成22年より毎月発行
- ・連絡事項の他にも地域の行事や出来事について豊富な写真で紹介
- ・自治会内のコミュニケーションツールとして重宝されている



横岡の魅力に惹かれた若者の参入

近年のコロナ禍により、自治会活動の多くは縮小を余儀なくされ、地域活力の低下を憂いていた横岡地区に現れた2人の地域おこし協力隊員…その名は「Ventos」



- ・日本各地の魅力発信など、観光分野を中心に活動。
- ・令和3年4月ににかほ市ふるさと地域協力隊員に就任後、市職員より横岡稲倉そば生産組合長を紹介され、出会ったその日にそば打ちを体験。打ちたての十割蕎麦の味に感動！
- ・その後も地域との交流を通して住民の人柄に惹かれ、他地域にはない魅力を感じ、横岡集落を拠点として活動することを決心。

「都会出身者に対して”田舎での生活の豊かさを体感し、自分の田舎を作る”価値を提供する」とのコンセプトのもと、「Ventos」の団体名で活動。R5に開設したのゲストハウスを活用した交流人口の増加、集落で収穫した農産物の商品開発及びブランディングを計画。

拠点として古民家をゲストハウスに改修

- ・令和4年度、地域の空き古民家を県市補助金等も活用し、ゲストハウスに改修
- ・改修は自らの作業のほか、SNSにより活動の周知を積極的に行い、地元住民に留まらず地域内外の幅広い層が作業に協力
- ・地域のコミュニケーションが生まれ、子ども達が自ら手伝いに参加するほどに



令和5年 ゲストハウス 麓☐-Rokumasu オープン

更なる地域活性化に取り組む組織づくり

令和4年度、Ventos、横岡自治会、横岡稲倉そば生産組合、農家、近隣漁業者等を構成員とした「麓のカラコ協議会」を設立。地域の活性化をめざし取り組み開始。



令和5年度 農村RMO事業採択

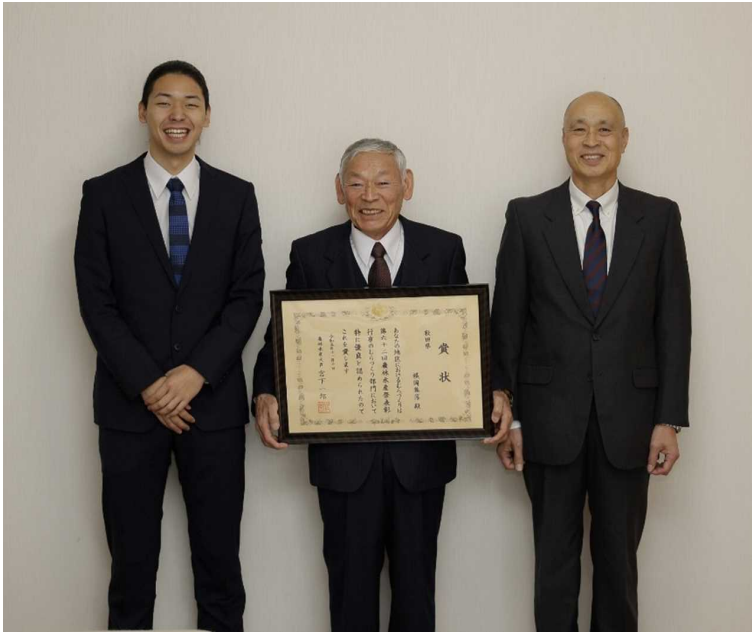
以降3年計画で地域の課題処理に向けた調査、施策を実施

- 農用地保全地域ビジョン策定

- 地域資源活用計画策定

- 生活支援ビジョン策定

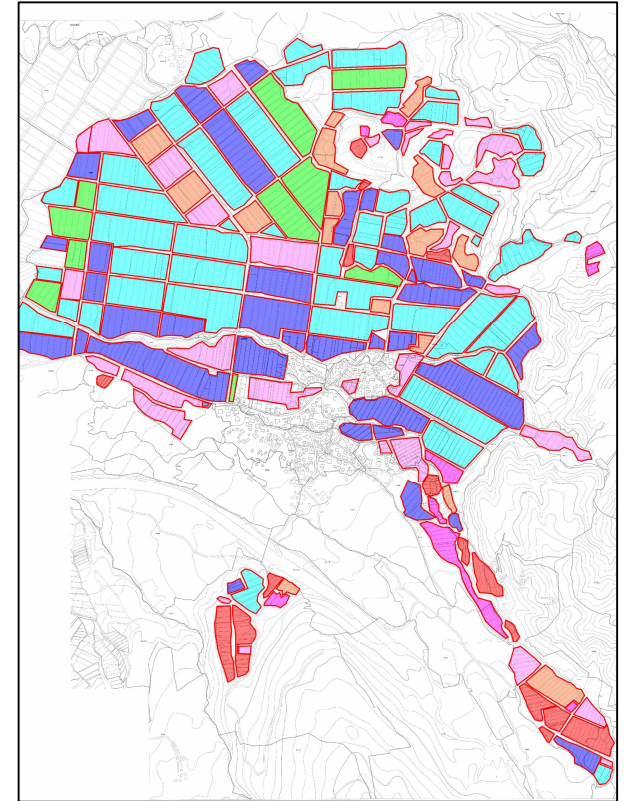
地域の更なる活力と発展の起爆剤に



令和5年度「豊かなむらづくり
全国表彰事業」東北ブロック
「農林水産大臣賞 横岡集落」



地域資源（そばの実、山菜等）
を活用した
地元発の新メニュー開発の取組



地域の農用地測量を実施、
農地保全計画の策定中

ご清聴ありがとうございました